

令和2年度
郷土資料館
事業実績報告書

令和2年度事業実績報告書 事業分類番号一覧

大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
1 世代共通	1 学習分野	1 いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。	16 郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実	1
			17 広報活動の充実(ホームページ・郷土資料館だより)	3
			18 郷土学習の支援	
	2 芸術文化分野	1 ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。	17 郷土研究会等の育成	4
			09 郷土資料の収集・整理・保存・調査研究	5
		3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	10 歴史や自然に関する調査研究	6
			11 ふるさと講座	7
			12 加賀家文書歴史講座	9
			13 特別展・企画展	
			14 郷土学習出前講座	10
			15 出前移動展	11
			16 資料の有効的活用のための貸出	12
			17 郷土学習推進に関わる刊行物の作成	13
2 生涯各期	2 青少年期	2 魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。	17 郷土資料館サマー・ウインタースクール	14
	4 高齢期	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	03 所蔵資料を活用した地域回想法事業	15
3 施設・機関	4 郷土資料館	1 郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料館)の継承に努めます。	01 郷土資料館の建設準備	16

1-1-1-16					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実				
事業内容・目的	町の歴史や自然、加賀家文書等関連資料を広く展示公開し、新着資料、展示解説のリニューアル、調査研究の成果などを常設展示に反映させ、町民の学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. 入館者の満足度（アンケートによる）2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）3. 入館者数（豊原分館）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	85%	85%	85%
目標値2	900	900	950	950	1,000
目標値3	100	100	150	150	200
実績1	93%	86%			
実績2	955	439			
実績3	84	29			
決算額	7335千円	3896千円			
評価	B	B			

令和2年度（2020）実績

1. 入館者の満足度（郷土資料館・加賀家文書館）-86%（アンケート回答9人）
2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）-439人（個人-219人・団体-21団体220人）
3. 入館者数（豊原分館）-29人（個人-11人・団体-3団体18人）

※コロナウィルス非常事態宣言のため4月20日～5月17日まで臨時休館（28日間）
（開館予定日数は18日間）

団体入館状況（郷土資料館・加賀家文書館）

月 日	団 体 名	人 数	対 応 内 容
6月9日	根室振興局長	3	展示解説
6月28日	北海道自然観察協議会	12	展示解説
8月1日	主催事業サマースクール参加者	8	
8月6日	別海町郷土資料館整備事業庁舎内検討会議構成員	6	
8月18日	ラムサールセンター	5	展示解説
8月31日	西別湿原ヤチカンバ群落地整備委員	3	
9月2日	西別湿原ヤチカンバ群落地整備委員	4	
10月3日	道東3管内博物館施設等連絡協議会交流推進会議施設見学	10	展示解説
10月9日	東公民館寿大学	19	展示解説
10月23日	（株）ノーザンクロス（日本遺産関係）	2	展示解説
10月28日	北海道開発協会	3	展示解説
11月11日	ケアハウスみどりの	13	
11月12日	ケアハウスみどりの	7	
11月12日	中春別中学校2年生	18	展示解説・講話「加賀伝蔵とアイヌ民族」
12月4日	野付小学校4年生	16	展示解説・講話「加賀伝蔵について」
12月17日	西春別小学校3、4年生	9	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
2月2日	上春別小学校3年生	10	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
2月2日	上春別小学校4年生	14	展示解説・講話「別海町のはじまり」
2月4日	上風連小学校3、4年生	13	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
2月9日	上西春別小学校3年生	36	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
2月24日	日本遺産モニターツアー	9	展示解説

団体入館状況（豊原分館）

月 日	団 体 名	人 数	対 応 内 容
8月6日	別海町郷土資料館整備事業庁舎内検討会議構成員	6	
8月19日	ジャイカ北海道（帯広）	2	展示解説
10月3日	道東3管内博物館施設等連絡協議会交流推進会議施設見学	10	展示解説

入館者の感想-アンケートから-

●郷土資料館について

・意外と展示数が多く見やすかった。置き方が見やすく、ストレスなく見れたと思う。

(旭川市・10代男性)

・[印象に残ったところ]明治以降の生活品や写真が保存され、北方領土のコーナーが設置されているところ。大変有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。(北海道内・40代男性)

・リアリティがある。子供の教育にふさわしい展示物がいっぱい。こういう展示物は全国でもなかなかないと思う。広ければ良いと言う問題では無い。小さくても中味が濃い資料館である。別海のみならず北海道の歴史を見る事ができた。(札幌市・40代男性)

・酪農がはじまったきっかけを知ることが出来た。コロナ対策で1時間以内にということだが、時間が足りない。(兵庫県・60代女性)

●加賀家文書館について

・本州を出身とする加賀家の出身、何藩の何家で役職は何だったのか気になります。(札幌市・50代男性)

・加賀家と別海の関係を知ることが出来た。(江別市・40代男性)

・V T Rを入館時に見て良かった。(札幌市・60代男性)



上春別小学校3年生来館時 昔の道具体験「せんべい焼き」「炭火アイロン」



上春別小学校4年生来館時 加賀家文書館見学



1-1-1-17					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）				
事業内容・目的	町の歴史や自然及び加賀家文書に関することをホームページなどを通じ、情報の提供を行い町民の学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く） 2. 発行回数（広報べっかい版、館配布・ホームページ配信版）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	12	12	12	12	12
目標値2	24	24	24	24	24
実績1	25	17			
実績2	24	24			
決算額	-	-			
評価	A	A			

令和2年度（2020）実績

1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く）-17回
事業のお知らせや実施報告、別海町の自然などを主に掲載。
2. 発行回数-24回
「広報べっかい版」では、事業のお知らせを主とし、「館配布・ホームページ配信版」では、町の歴史や自然に関するコラムを掲載。

1-1-1-18					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	郷土学習の支援				
事業内容・目的	町内外及び学校関係、各種団体の歴史や自然に関する調査・研究の支援を行い、情報の相互提供などを行い学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. 件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	20	20	20	20	20
実績1	39	35			
決算額	-	-			
評価	A	A			

令和2年度（2020）実績

1. 歴史関係-30件、自然関係-5件（町内-8件、管内-6件、管外-13件、道外-8件）
※来館、電話での回答や関係資料の提供を行うなど対応。

1-2-1-17						
分類	1-2-1 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館			
推進目標	ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。					
事業名	郷土研究会等の育成					
事業内容・目的	町内にある郷土研究会等への指導・協力を行い、郷土研究の充実・発展を目指します。					
評価指標	1. 指導・協力回数					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	24	24	24	24	24	
実績1	32	24				
決算額	-	-				
評価	A	A				

令和2年度（2020）実績

1. 指導・協力回数-24回

別海町郷土研究会

①「風蓮湖周辺動植物調査」（14回）（郷土資料館と協同調査）

②古写真・文献デジタル化作業（10回）



風蓮湖周辺動植物調査 「タンチョウ・エゾシカ」



「コクガン」



風蓮湖周辺動植物調査 「ワタスゲ」



「シコタンタンポポ」

1-2-3-09			
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	郷土資料の収集・整理・保存・調査研究		
事業内容・目的	所蔵資料のうち、未整理や未分類、調査研究が不十分なものに対して、資料基本台帳のデジタルデータベース化と同時進行で整理などを実施するとともに、次世代に継承しなければならない郷土資料を収集します。		
評価指標	1. 資料基本台帳登録資料数		
備考	1. 資料基本台帳登録資料数 ※令和3年3月31日現在総資料数 19,310点(平成17～令和2年度実績3,406点)		

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	200	200	200	200	200
実績1	173	222			
決算額	52千円	71千円			
評価	B	B			

令和2年度(2020)実績

1. 資料基本台帳登録資料数-222点(所蔵・寄贈資料分-計測・注記・写真撮影)
2. 資料の寄贈・収集・作成
①寄贈資料数-220点(自然147点、生活2-6点、文書資料-67点)
②作成資料数-別海町の漁業 ホッカイシマエビ-1点、ホタテ-1点

1-2-3-10					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	歴史や自然に関する調査研究				
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。				
評価指標	1. 調査件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	2	2	2	2	2
実績1	4	3			
決算額	-	127千円			
評価	B	B			

令和2年度(2020)実績

1. 調査件数-4件
①歴史-「加賀家文書等資料」の詳細調査及び解説作業
②歴史-又十藤野家について(特別展開催・令和3年度も継続調査)
③自然-風蓮湖周辺の動植物調査(町郷土研究会と協同調査)
調査15年目(令和3年度も継続調査)

1-2-3-11					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	ふるさと講座				
事業内容・目的	町の歴史や自然に関する講座を開設し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	89%	91%			
決算額	86千円	96千円			
評価	A	A			

令和2年度（2020）実績

1. 受講者の満足度-91%（アンケート回答52人）

自然系・歴史系共に満足度の高い講座となり、大変好評でした。

自然系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	7月25日	野付半島	「シギ・チドリ観察会」 講師：野付半島ネイチャーセンター長 藤井薫氏	9人
②	11月29日	野付半島	「初冬の野鳥観察会～コクガン・ユキホオジロを観察しよう！」 講師：野付半島ネイチャーセンター長 藤井薫氏	19人
③	2月28日	根室市花咲港 風蓮湖	「冬の野鳥観察会-オジロワシ・オオワシ観察会」 講師：野付半島ネイチャーセンター長 藤井薫氏	9人
歴史系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	4月19日	野付半島	「江戸時代のノツケ～野付通行屋・番屋跡遺跡～」 講師：郷土資料館 主幹 石渡一人	新型コロナウイルス緊急事態宣言のため中止
②	7月4日	奥行	「明治から昭和の交通の要所 奥行地区文化財を巡る」～史跡旧奥行白駅通所保存修理工事完成見学会～ 講師：教育委員会生涯学習課文化財担当 主幹 戸田博史	11人
③	10月25日	野付半島	「擦文時代～アイヌ時代遺跡巡り～オンネニクルの森を歩こう～」 講師：郷土資料館 主幹 石渡一人	11人

自然系①～③、歴史系①③は、野付半島ネイチャーセンターとの連携事業



自然系①



自然系②

参加者の感想（アンケートから）

自然系①

・今日はおもいがけず普段は行くことができない半島の先まで行けて、シギ・チドリのたくさんの群れを見せていただき、生態についても学ぶことができて本当に良かったです。南半球から北極を旅することに思いをはせると感慨深く感動もひとしおでした。

自然系②

・風もなく恵まれた観察会だった。コクガンがたくさん見れたし、ユキホオジロもちょうと見れて嬉しかった。月もきれいだった。

・この観察会のための図書館に行き、本を借りて見てきましたが、本物の鳥を見ると「かんげき」でした。ありがとうございました。

自然系③

・チシマシギが見れてよかったです。あんなにたくさんのオオワシをはじめてみました。ありがとうございました。

・1人で歩いていても絶対に見つけられないチシマシギが見れてよかったです。オオワシもまた近くで見れました。風もなく穏やかな天気だったのでよかったです。ありがとうございました。

・珍しいチシマシギがはっきりと見られて感激でした。

歴史系②

・ただあるのと、歴史・経緯をお伺いして、みるのでは全く違うということを感じました。このような機会を年に数回希望します。

・珍しい駅通所の歴史が聞けてためになりました。

・明治からの歴史、ストーリーがあって面白かった。小中高生も興味を持ちそう。駅通の詩、石川啄木とのつながりなど貴重な話。今後の観光PRに期待します。

歴史系③

・アイヌ史跡の説明は良かった。地理・地形の成り立ち、動植物の説明がもう少しほしかった。天気も良く良かったです。

・立ち枯れ、内湾の風景を目にする事ができて有意義でした。チャシ跡の発掘が進んで全容が解明できれば、木道・遊歩道の整備なども含め、新しい観光資源になるのではないのでしょうか？

・見た事もない、来たこともない所、素晴らしかったです。ぜひ、来年も歩こうと思います。ありがとうございました。

・はじめてのオンネニクルでした。巨木や枯木に囲まれた遺跡を見て古代への思いをはせました。

・良い天気に恵まれ歩くのも楽しく、自分では入れない所へと。また、来年も来ますので、よろしく願いいたします。出来ればもう少し早く木の葉が美しい時に。これ以上塩に木がかれない様祈ります。

・景色が最高でした。また、ぜひ参加したいです。

・別海町に生まれ別海町の海岸に住んでいます。この度は地元の歴史なるものを知りたいと思い参加しました。先住民族、アイヌ民族・和人である我々の先祖が住み育んできたこの地を探索し、感無量の気持ちです。心地よい疲労感にひたりました。

・とても良かった。実際目で見ると、ネットや本と全々違う。感想ではありませんが、ゴミ拾いをしたいです。



歴史系②



歴史系③

1-2-3-12						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課		郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	加賀家文書歴史講座					
事業内容・目的	加賀家文書を中心とした近世江戸時代に関する講座を開設し、加賀家文書に対する理解を深めます。					
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%	
実績1	83%	94%				
決算額	－	－				
評価	B	A				

令和2年度（2020）実績

1. 受講者の満足度-94%（アンケート回答8人）
 特別展「又十藤野家蝦夷地・北海道での足跡を探る」の関連講座として、「加賀家文書」に残る藤野家の様子について紹介。

期 日	場 所	内 容	受講者数
3月14日	郷土資料館	加賀家文書「絵本雑録記」に見る幕末の又十藤野家など 郷土資料館 主幹 石渡 一人	8人

参加者の感想（アンケートから）

- ・率直に藤野家の事は存知あげてなかったので大変参考になった。資料もありがたかった。
- ・貴重な資料を手にとってみせていただきさわれることもでき感激しました。ありがとうございました。
- ・屋号の又十に興味があります。私の屋号は〇十です。これからもよろしく願います。
- ・藤野家、加賀家の流れを知ることができ、大変勉強になりました。
- ・少人数ではありましたが、とてもよい講座でした。原本資料を拝見できよい経験となりました。
- ・興味深いお話ありがとうございました。いっそうのご活躍を期待します。
- ・調査研究は地道で大変ですが今後も頑張ってください。



1-2-3-13						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野			担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	特別展・企画展					
事業内容・目的	調査研究の成果の公表及び所蔵されている資料を広く展示公開し、町の歴史や自然をより深く理解するための特別展・企画展を実施します。					
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%	
実績1	88%	81%				
決算額	128千円	170千円				
評価	B	B				

令和2年度（2020）実績

1. 見学者の満足度-81%（アンケート回答13人）
 近世には松前一の豪商と呼ばれ、近代に入っても北海道開拓に貢献した藤野家について、歴史的背景や別海町、道内各地に残る文化遺産を紹介したもの。
 次年度以降、中央・西・東公民館で移動巡回展を予定。

期 日	場 所	内 容	入館者数
3月3日 ～30日	郷土資料館	「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」	集計無

見学者の感想（アンケートから）

- ・各地の資料があつて道内各地の様子が分かる。写真が良く整理されている。（町内60代・男性）
- ・内容は大変勉強になることだったが、パネル1枚ごとの文字数が多く見づらさがあつた。地域のことを知る機会を設けてもらえて勉強ができた。他の古いことについても知りたいと思った。（標津町20代女性）
- ・調査・研究御苦労様です。これからも研究を続けていただければ幸甚です。（町内60代・男性）
- ・別海の歴史の一端を知ることが出来ました。（町内60代・女性）
- ・書籍化もしくは、ブログにのせてほしい。（中標津町50代・男性）

その他

期 日	場 所	内 容	入館者数
8月1日 ～9月1日	郷土資料館	私のコレクションコーナー 「プロレスコレクション」（町内50代男性）	111人
8月3日 ～9月30日	郷土資料館	終戦75年「別海と戦争」 （平成27年度特別展パネルの展示）	111人



「又十藤野家蝦夷地・北海道での足跡を探る」 「私のコレクションコーナー」 「終戦75年別海と戦争」

1-2-3-14					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習出前講座				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	80%	100%			
決算額	12千円	10千円			
評価	B	A			

令和2年度（2020）実績

1. 受講者の満足度-100%（アンケート回答4団体）

月 日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
6月28日	北海道自然観察指導員研修会 「野付半島の歴史について」（講話・遺跡案内）	13	石渡主幹
6月30日	中西別小学校 児童クラブ 「火起こし体験」（体験学習）	10	石渡主幹
7月13日	上春別小学校6年生 「大昔のべっかい・勾玉づくり」（講話・体験学習）	11	石渡主幹
8月5日	上春別中学校2年生 「別海町のアイヌ民族の様子」（講話）	12	石渡主幹
9月3日	北海道埋蔵文化財センター出前研修会（釧路市） 「史跡奥行臼駅通所の発掘調査について」事例発表	20	石渡主幹
9月17日	南知床4町地域雇用創造協議会セミナーガイド養成講座 「野付半島の歴史について」	20	石渡主幹
10月9日・13日	中西別小学校6年生 「別海町の地層・火山灰について」（授業支援）	13	石渡主幹
10月29日	西春別中学校 「大昔のべっかい・勾玉づくり」（講話・体験学習）	25	石渡主幹
2月15日	別海中央小学校4年生 「別海町の開拓と発展について」（講話）	70	石渡主幹
10月2日	令和2年度道東3管内博物館施設等連絡協議会交流推進会議 「別海町郷土資料館の現状と課題」事例発表	19	石渡主幹
3月22日	西公民館リクエスト講座 「大昔のべっかい・勾玉づくり」（講話・体験学習）	6	石渡主幹

出前講座の感想（アンケートから）

・8/5 上春別中学校2年生

丁寧な説明に加えて、江戸時代に実際に使われていた貴重な資料（アイヌ民族資料）に触ることが出来て、生徒は大変満足していました。生徒の興味関心に応じて、またご相談させて頂くことになると思います。

・10/29 西春別中学校

講話の内容は、驚くことが多く興味深く聞くことが出来ました。勾玉づくりもすっかり準備して頂き助かりました。いつもにぎやかな生徒が集中して勾玉を磨いて取り組んでいました。体験的なものと講話の組み合わせはとても良く、今回のような時間で出来るものは利用してみたいです。講座によっては、小学生、中学生対象となっているものもあるのでしょうか？今後の総合等の時間でも、教員では対応できない分野をぜひお願いしたいと思いました。



中西別小学校6年生



上春別中学校2年生

1-2-3-15						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	出前移動展					
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。					
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%	
実績1	86%	88%				
決算額	-	-				
評価	B	A				

令和2年度（2020）実績

1. 見学者の満足度-88%（アンケート回答18人）
令和2年度実施の特別展の移動展を実施。

期 間	事業名と内容	備 考
7月2日 ～30日	野付半島ネイチャーセンター 「北の開拓地で生命をむかえる・拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」	パネル33枚
8月4日 ～19日	東公民館 「北の開拓地で生命をむかえる・拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」	パネル33枚
9月24日 ～10月8日	西公民館 「北の開拓地で生命をむかえる・拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」	パネル33枚

見学者の感想（アンケートから）

●野付半島ネイチャーセンター

- ・ 実に良い着眼点と感じました。（神奈川県・60代男性）
- ・ 地域の産婆さんや保健師さんを取りあげていることに、この地域での重要さを知る。（石狩市・60代女性）
- ・ 産婦人科医をしています。非常に興味深かったです。大学院でインドネシアの母子保健を専攻しました。北の寒い中、お産の介助にかけつけるのは、大変だったと思います。（兵庫県・50代女性）
- ・ 開拓の歴史をお産の面から見るということで、具体的な話の中から生活ぶりなどを見ることができた。良くある事を成した人の話や公の話ではない歴史が人が生きていく大変さ、尊さ、人の愛おしさなどを感じさせてくれました。（北広島市・50代女性）
- ・ 展示を見て生命が尊いと思えた。開拓の困難さが産婆の存在を通じて感じられた。産婆の経歴を通して開拓の困難さを知った。とても感動した。もっと多くの人にも知ってほしい。（旭川市・30代男性）

●東公民館、西公民館

- ・ 私が生まれるときの助産師の写真があった。（町内・50代男性）
- ・ 大変なご苦労があったと思います。（町内・60代女性）



野付半島ネイチャーセンター



東公民館

1-2-3-16						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課		郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	資料の有効的活用のための貸出					
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。					
評価指標	1. 利用者の満足度（アンケートによる）					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%	
実績1	90%	100%				
決算額	-	-				
評価	A	A				

令和2年度（2020）実績

1. 利用者の満足度-100%（アンケート回答1件）

関係機関や各団体の要望に応じての貸出であるため、件数については流動的であります。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急務である。

期 間	内 容	貸出資料
4月1日 ～3月31日	国立アイヌ民族博物館 常設展示資料として	加賀家文書等資料（アイヌ絵）-2点
5月15日 ～22日	西春別小学校 4年生社会科学習使用のため	昔体験セット一式
11月2日	北海道文化放送 「EXILE TRIBE 男旅 北海道最高ごはん羅臼・標津編」挿入資料	加賀家文書等資料（「北辺要話」「鱒形図壱拾品鮭形図四品」）-2点
1月8日	株式会社アルバ（ポプラ社） 書籍『日本遺産地域の歴史と伝統文化を学ぶ』掲載資料	加賀家文書等資料（「鱒形図壱拾品鮭形図四品」）-1点
8月21日 ～1月31日	斜里町立知床博物館 「第41回斜里町立知床博物館特別展鮭と川と人と」展示のため	藤野缶詰所製造ラベル-2点 藤野缶詰所製造木箱-1点 サケ缶詰レプリカ-30点
1月29日	株式会社釧路新聞社 「釧路新聞広告」掲載用	根釧パイロットファーム関係写真-2点
3月11日	株式会社シーズ・コーポレーション DVD『NHK六角精児の呑み鉄本線日本旅』挿入資料	牛乳缶を運ぶ簡易軌道（鉄道）の写真-1点



国立アイヌ民族博物館常設展示貸出資料「加賀家文書」左2点

北海道文化放送挿入資料「加賀家文書

1-2-3-17					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習推進に関わる刊行物の作成				
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 作成件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	3	5			
決算額	18千円	10千円			
評価	C	B			

令和2年度（2020）実績

- ①郷土資料館展示解説シート「別海町の自然（植物編1～3・野鳥編1～2）」の刊行・配布。
- ②「別海町郷土資料館だよりNo.249～260」の刊行。当館、役場、西・東公民館、ホームページで掲載。（広報活動の充実と重複）
- ③今後の刊行物作成として「絵本加賀伝蔵物語」の本文・作画、「所蔵資料目録」の準備作業を実施。



展示解説シート「別海町の自然」



別海町郷土資料館だより

2-2-2-17					
分類	2-2-2 生涯各期-青少年期	担当課	郷土資料館		
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。				
事業名	郷土資料館サマー・ウインタースクール				
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探究させる心を育てます。（夏休み・冬休み中）				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	97%	97%			
決算額	10千円	13千円			
評価	A	B			

令和2年度（2020）実績

1. 受講者の満足度-97%（アンケート回答7人）

サマースクールについては、もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど好評だった。ウインタースクールについては、悪天候により中止とした。

サマースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
8月1日	郷土資料館	「大昔のべっかい 勾玉づくり」 講師 別海町郷土資料館 主幹 石渡 一人	8人

ウインタースクール（悪天中止）

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月8日	郷土資料館	「昔の遊び・凧づくり」 講師 郷土資料館職員	悪天中止

参加者の感想（アンケートから）

○サマースクール

- ・時間がかかって長かったけど、つるつるになって、まだまだつるつるにしたいです。次回もやりたいです。
- ・5年生になっても勾玉づくりをしたいです。
- ・楽しかった。また、やるんだったらさんかしたい。あと、いろんなのをみれてよかったです。
- ・これで、4回目だけど、この4回目が一番うまくできたとおもいました。
- ・前よりまが玉をつくるのがじょうずになった気がした。もっとまが玉を作りたいです。



2-4-3-03					
分類	2-4-3 生涯各期-高齢期		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	所蔵資料を活用した地域回想法事業				
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。				
評価指標	1. 進捗状況				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	－	－			
決算額	－	－			
評価	C	B			

令和2年度（2020）実績

・町内12の高齢者福祉施設に「別海町郷土資料館地域回想法事業貸出メニュー」を具体的に明記し周知したところ7施設の利用があった。アンケート調査の結果からも利用者の反応は良く、今後も活用を促すとともに新たなメニューの開発が必要である。

期 間	内 容	利用者
6月16日 ～7月1日	「昔なしかしい映像」（DVD）鑑賞	西春別ディサービスすずらん
7月6日 ～20日	「昔なしかしい映像」（DVD）鑑賞	特別養護老人ホーム青翠園
8月21日	昔の道具「せんべい焼き器」体験	ディサービスセンターひだまり
7月21日 ～8月31日	「昔なしかしい映像」（DVD）鑑賞	JA道東あさひ介護事業所
8月27日	昔の道具「せんべい焼き器」体験	ディサービスセンターひだまり
11月27日 ～12月22日	「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」パネル展示鑑賞	別海町ケアハウスみどり野
11月11日 ・12日	郷土資料館見学での地域回想法の実践	別海町ケアハウスみどり野

利用施設の感想（アンケートから）

●JA道東あさひ介護事業所

・今回、介護予防プログラムとして、DVDを貸して頂き、利用者の皆様は、昔を懐かしまれ、喜ばれ「地域回想法」になったのではないかと思います。今後も昔の記憶や笑顔を引き出せる回想法の資料などあれば、利用させて頂きたいと思えます。

●ディサービスセンターひだまり（せんべい焼き器貸出）

・皆さま、昔を思い出されて「懐かしい！昔作った！」という声が聴かれました。滅多に外に出られない利用者様も笑顔で積極的に参加されてました。再度企画したいと思いますので、よろしくをお願いします。

●別海町ケアハウスみどり野

・以前、昭和時代の映像を見た後に語り合うというNHKライブラリー回想法DVDを利用したことがあったが、活発的な発言はなく成功とはいえなかった。今回、郷土資料館へ行き、入所者が昭和時代に使用していた道具や生活の様子を実際に見たことで、当時の記憶が鮮明に蘇り、個々の活発な発言へとつながった。

また、パネル展示した昭和初期の写真は、圧巻だった。入居者様、施設職員は勿論のこと、来設者も足を止めて見ていた。写真から時代を読み解き、「あの時、この時」を思い出し、他者と語り合うことで、入居者様自身がこれまでの自分の歩んだ人生を振り返る良い機会となった。最後に、地域回想法が実践できるようご協力いただいた郷土資料館職員の皆様に感謝申し上げます。



特別養護老人ホーム青翠園

3-4-1-01					
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館 担当課 郷土資料館				
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料)を継承していきます。				
事業名	郷土資料館の整備				
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館・豊原分館の整備方針を策定し、計画的な整備を進めます。附属施設加賀家文書館については、計画的な改修を行います。				
備考	※下記実施計画は、予定とする。				
実施計画	R1 調査・準備（教育委員会内部検討会議）				
	R2 調査・準備（役場庁舎内検討会議）				
	R3 調査・準備（役場庁舎内検討会議）				
	R4 基本構想策定				
	R5 基本計画策定				
	R6 実施計画策定				
	R7 工事・展示制作				
	R8 工事・展示制作				
	R9 工事・展示制作				
	R10 開館				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
決算額	108千円	-			
評価	○	○			
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画					
評価					
1. 郷土資料館・豊原分館 令和元年度に作成した『別海町博物館基本構想【提言書】～別海町教育委員会郷土資料館整備事業内部検討会議整備方針として～』（令和2年3月）をもとに、役場庁舎内検討会議を3回開催した。財源確保や候補場所についての検討を行ったが、問題も多く、その解決に時間を要すことから令和3年度も継続して役場庁舎内検討会議を開催する。					
2. 附属施設加賀家文書館 令和元年度に『別海町社会教育施設長寿命化計画』を策定。今後は、計画的に改修を行う。					



郷土資料館



豊原分館

その他の事業

事業名	内容・実施時期など
町機関対応関係	●別海町教育委員会生涯学習課文化財担当所管 ①埋蔵文化財包蔵地確認調査（カッコはヶ所） 4月23日－中西別地区(1)・西春別駅前地区(1) 9月28日－中西別地区(1) 1月22日－中西別地区(1) 3月25日－西春別地区(1)
道機関対応関係	●北海道教育委員会文化財・博物館課 町内埋蔵文化財包蔵地「北海道東部に残る竪穴群」調査 2月25日～26日－18遺跡踏査
研究機関等対応関係	●滋賀県豊郷町教育委員会学芸員加藤直子氏来館調査 「藤野家関係資料調査」（3月12日～13日）
研修会関係	●創立30年記念令和2年度道東3管内博物館施設等連絡協議会交流推進会議（10月1日～3日）会場：別海町図書館・郷土資料館など
報道機関対応関係	●特別展・資料展示・講座開催等に伴う取材11回 北海道新聞(4)、釧路新聞(1)、北海道建設新聞(1)、 (株)ノーザンクロス(1)、北海道開発協会(1)、UHB(1) 桑山寛子（コピーライター）(1)、ドット道東(1)



北海道教育委員会文化財・博物館課「北海道東部に残る竪穴群」調査 風連3遺跡



創立30年記念令和2年度道東3管内博物館施設等連絡協議会交流推進会議